

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月24日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【一時立入者の身体汚染確認途中での退域について】 一時立入者が、放射線の管理対象区域から退域するにあたり、身体汚染確認の途中で管理対象区域外へ退出してしまつた。 測定時にエラーが発生したため、係員がその場に留まるように指示したが、当該者は、エラー発生を測定完了と誤解した。 直ちに、身体サーベイを実施して汚染がないことを確認。	GⅢ	6月22日
2	【警備員詰所の入口扉開放時における足の指挟まれについて】 靴下で移動するエリアにある警備員詰所で、委託警備員が詰所外の扉付近で鍵の貸出対応を行っていたところ、詰所内から別の人が開けた扉と床の隙間に足の指を挟んだ。 救急医療室にて右足第二趾挫創と診断、治療後帰宅した。 扉の可動範囲内で作業を行わないことを周知、および可動範囲が分かるように識別を実施済。	GⅢ	6月20日
3	【A排水路ゲートからK2タンクエリアへの移送不能について】 A排水路ゲートからK2タンクエリアへの耐圧ホース通水確認試験時に移送出来ないことを確認。 その後、当該耐圧ホースを用いて、物揚場排水路からK2タンクエリアに移送できたことから、原因はA排水路側のポンプ不調と推定。 今後、ポンプの調査予定。	GⅢ	6月18日
4	【K3タンクエリアB2タンク水位計の指示不良について】 K3タンクエリアB2タンク水位計の水位指示が計測範囲以下まで降下し警報が発生した。 現場を確認し漏えいがないこと、およびB2タンクとB3タンクの連結弁を「全開」にして、B3タンク水位に変動がないことをもって、B2タンク水位にも変動がないことを確認。 また、保守ツールを用い計器を確認したところ、計器内部の電源回路の故障が確認されたため、計器故障と判断。 今後、計器交換を予定。	GⅢ	6月22日
5	【火気作業と塗装作業の隔離距離不足について】 4号機タービン建屋2階での淡水化装置バイパスライン他設置作業時に、火気作業と塗装作業の隔離距離が不足していたことを、電気主任技術者が協力企業作業員に指摘。 今後、原因と再発防止対策を検討。	GⅢ	6月18日